

# 海老名市立有馬小学校いじめ防止基本方針

## 1 いじめの防止等に関する基本的な考え方

### (本校のいじめ防止に関する基本的な姿勢)

いじめは、いじめを受けた児童の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものです。

したがって、本校では、すべての児童がいじめを行わず、ほかの児童に対して行われるいじめを認識しながら放置することがないように、いじめが心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する児童の理解を深めることを旨として、いじめの防止等のための対策を行います。

また、家庭や地域、関係機関との連携を大事にし、児童が多くの人々と関わり、多くの目で見守られるよう学校を中心としたコミュニティーづくりに努めます。

### (いじめの禁止)

本校児童は、いじめを行ってははいけません。

### (学校及び職員の責務)

海老名市「ひびきあう教育」の理念の元、平成 24 年に再確認された「いじめ問題に対する海老名市教育委員会の基本方針」および、同年改訂された、いじめ対応マニュアル「いじめへの対応～いじめのない学校を目指して～」に基づき、いじめが行われず、すべての児童が安心して学習やその他の活動に取り組むことができるように、保護者、地域住民他関係者との連携を図りながら、学校全体でいじめの防止と早期発見に取り組むとともに、いじめが疑われる場合には、適切かつ迅速にこれに対処し、再発防止に努めます。

## 2 いじめの防止等に関する内容

### (1) いじめの未然防止のための取組み

- ・児童相互と教職員の間で日頃から信頼関係を築き、いじめを許さない学校づくり、学級づくりを進めます。
- ・クラスや学年を越えて、全職員で児童を育てる体制づくりに努めます。
- ・児童一人ひとりを大切にすると人権教育の基盤に立って、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にすると指導や道徳教育及び体験活動等の充実を図ります。
- ・年度初めに海老名市の方針（「いじめ問題に対する海老名市教育委員会の基本方針」・いじめ対応マニュアル「いじめへの対応～いじめのない学校を目指して～」）を全職員で確認します。
- ・毎年、全職員で、いじめ防止のための効果的な指導に関する研修を実施します。

### (2) いじめの早期発見、早期解決のための取組み

- ・いじめの兆候をいち早く把握し迅速に対応するために、教育相談・家庭訪問等の機会を通して、よりきめこまかな実態把握に努めます。
- ・いじめに関する生活アンケートを学期に 1 回（5 月第 5 週・10 月第 3 週・1 月第 5 週）実施し、結果を全職員で共有します。
- ・いじめに係る相談を受けた場合には 速やかにチーム体制で事実の確認をします。
- ・いじめの事実が確認された場合は、いじめをやめさせ再発を防止するため、いじめを受けた児童・保護者に対する支援と、いじめを行った児童への指導とその保護者への助言を継続的に行います。
- ・いじめの当事者間の争いを生じさせないように、いじめの事案に係る情報を関係保護者と共有するために必要な措置を講じます。

- ・自己肯定感を高める学校行事、体験活動、ボランティア活動等の取組や、集団における人間関係づくりを通して、いじめを行った児童の心の成長を支援します。
- ・その他、いじめに係る対応の具体的な流れや留意点については、海老名市教育委員会発行いじめ対応マニュアル『いじめへの対応～いじめのない学校を目指して～』などにに基づき、適切かつ迅速に対応します。
- ・全てのいじめを職員が把握し、解決を図ることは難しい面があるため、場合によっては児童と職員が連携していじめに対応することを視野に入れます。
- ・犯罪行為として取り扱われるべきいじめについては、海老名市教育委員会及び警察署等と連携して対処します。

### (3) インターネット上のいじめへの対応

- ・発信された情報が急速に広がってしまうこと、発信者の匿名性、その他インターネットを通じて発信される情報の特性を踏まえて、インターネットを通じて行われるいじめを防止し、効果的に対処できるように、情報機器を使用した授業や携帯スマホ安全教室等を通して啓発活動を行います。

## 3 「いじめ防止対策委員会」の設置

いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処等に関する措置を実効的に行うため、「いじめ防止対策委員会」を児童支援委員会の場に設置し、学期に1回程度開催します。いじめと疑われる相談・通報があった場合には、会議を緊急開催します。

### (1) 「いじめ防止対策委員会【通常】」の構成

管理職、児童指導担当、学年代表、養護教諭、教育相談コーディネーター

- ※ 検討事項や事案内容に応じて、依頼可能な第三者（PTA、地域からの代表、民生委員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、児童相談所担当者、人権擁護委員等）の参加を柔軟に検討します。

### (2) 活動内容

- ・いじめ防止等の取組内容の検討、基本方針・年間計画の立案・検証・修正
- ・いじめに関する相談・通報への対応
- ・いじめの判断と情報収集
- ・いじめ事案への対応検討・決定
- ・いじめ事案の報告

## 4 重大事態への対処

いじめにより、児童の生命・心身又は財産に重大な被害が生じた場合や、相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている等の疑いがある場合は、海老名市教育委員会を通じて市長へ報告し、海老名市教育委員会と協議の上、上記3「いじめ防止対策委員会」を校内緊急対応チームとして機能させ、迅速に調査に着手します。

### (1) 「いじめ防止対策委員会【重大事態への対処時】」の構成

- ※ 構成員については、通常時の構成メンバーに加え、専門的知識及び経験を有する者等の第三者の参加を図り、当該調査の公平性・中立性を確保するよう努めます。
- ※ 事案内容により構成員については海老名市教育委員会と検討し、校長が任命します。

### (2) 活動内容

- ・発生した重大事態のいじめ事案に関する調査
- ・調査によって明らかになった事実関係について、いじめを受けた児童やその保護者等に対して、適時・適切な方法での提供・説明
- ・海老名市教育委員会への調査結果報告
- ・調査結果の説明について、いじめを受けた児童又はその保護者等が希望する場合は、所見をまとめた文書を添えて、調査結果の報告を提出

## 5 その他

### 【取組の年間計画】

時 期	内 容	担当・関係者
1 学期	○校内いじめ防止対策委員会① ・基本方針・年間計画の立案 ・いじめ事案への対応検討	管理職、児童指導担当、学年代表、養護教諭、教育相談 CO
	○児童支援全体会① ・基本方針・年間計画の確認 ・配慮を要する児童について	全職員
	○家庭訪問	担任
	○いじめに関する生活アンケート①	担任
	○携帯スマホ安全教室（5年） ○サイバー教室（6年）	児童指導担当・担任
	○児童支援全体会②（研修会） ・いじめ防止の効果的な指導に関する研修	全職員
2 学期	○校内いじめ防止対策委員会② ・1学期の対応について ・いじめ事案への対応再検討	管理職、児童指導担当、学年代表、養護教諭、教育相談 CO
	○いじめに関する生活アンケート②	担任
	○個別教育相談	担任
	○携帯スマホ安全教室（4年）	児童指導担当、担任
	○小中連携あいさつ運動	児童指導担当、担任
3 学期	○校内いじめ防止対策委員会③ ・基本方針の見直し ・年間の活動反省	管理職、児童指導担当、学年代表、養護教諭、教育相談 CO
	○いじめに関する生活アンケート③	担任
	○児童支援全体会③ ・基本方針の見直し・確認 ・年間の活動反省・次年度へ向けて	全職員
年間を通して の取組	○児童支援委員会（月1回） ・生活目標の取組報告 ・支援を要する児童の報告・情報交換	管理職、児童指導担当、学年代表、養護教諭、教育相談 CO
	○職員会議の場で気になる児童等の情報交換	全職員
	○あいさつ運動 ・あいさつ週間 学年毎に学期1回設定	学年団・担任
	○行事や児童会活動における縦割り班活動の実施	全職員